

講義コード	1126	科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	ジェンダーロン	(フリガナ)	ヤマグチ キョト
授業科目名	ジェンダー論	担当教員名	山口 季音
英文授業科目名	Gender Studies		
基準年次(開講期)	1年次(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	月曜日/5時限/314		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	ジェンダー、男らしさ、女らしさ、セクシュアリティ		
授業概要・目的	ジェンダー(Gender)とは、「社会的・文化的性別」を意味する用語である。男性・女性という性別は、身体的な区別である以上に、その「男らしさ」「女らしさ」イメージが私たちに大きく影響する。本授業では、私たちにたいへん身近な事柄である性別を考えることを通して、日常生活を捉え直す力を養うことを目的とする。		
到達度評価の 評価項目	①ジェンダーに関する基礎知識を獲得する。 ②性別にかかわるイメージが私たちに与える影響について知る。 ③性別について考えることを通して日常生活を捉え直す視点を獲得する。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション ジェンダーとは何か、ジェンダーの意味について		
第2回	身体とジェンダー 生物学的性差、スポーツとジェンダー		
第3回	歴史・文化とジェンダー 異文化、日本文化、近代社会とジェンダー		
第4回	教室におけるジェンダー 隠れたカリキュラム、学校教育の歴史		
第5回	現代日本のジェンダー構造 性別役割分業、労働におけるジェンダー、ジェンダーギャップ指数		
第6回	ジェンダーと社会運動 ウーマンリブ運動、男女雇用機会均等法		
第7回	男性学入門 男性とジェンダー、男性の特権とコスト		
第8回	男子問題 男子とジェンダー、男子集団と競争的關係		
第9回	女性の貧困問題 貧困、非正規雇用		
第10回	グローバル社会とジェンダー 海外の動向		
第11回	セクシュアルマイノリティとジェンダー① 性的マイノリティ、LGBT、学校教育		
第12回	セクシュアルマイノリティとジェンダー② ホモフォビア、セクシュアルマイノリティと文化		
第13回	健康とジェンダー① セクシュアルハラスメント、ドメスティックバイオレンス		
第14回	健康とジェンダー② リプロダクティブヘルス/ライツ、若者の性とジェンダー、性教育		
第15回	まとめ ジェンダー平等とその課題		
教科書・参考書等	適宜資料を配布する。参考文献としては、伊藤公雄『ジェンダーの社会学』放送大学教育振興会(2008年)、木村涼子ほか『よくわかるジェンダー・スタディーズ』ミネルヴァ書房(2013年)		
授業で使用する 機器等	プロジェクター、映像機器。		
予習・復習への アドバイス	配布資料や講義の内容を復習することが望ましい。		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	以下の3つの観点から評価する 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) 提出課題(20/100) 3) レポート(50/100)		
メッセージ	遅刻や授業中の私語、課題提出が遅れた等、減点の対象となる。		
オフィス・アワー	木曜4限		
その他	自分自身の身近な出来事と社会の問題を結び付けられる視点を養ってください。		